

2. 指標設定

成果指標	指標名	観光入込客数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	2,094,000人			豊後大野市外からの観光入込客数を増加させることを指標とし、数値設定は平成20年度時点の道の駅のレジ客数の2.5倍とした			
活動指標	指標	a	観光イベント集客数	b		c		d
	数値	目標	264,000人	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
観光入込客数	人	1,675,000	1,724,000	1,880,000
	%	80.0	82.3	80.2

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 観光イベント集客数	人	221,000	219,000	221,000
	%	83.7	82.9	83.7
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
イベントに対する経済効果の結びつきが懸念されている
対応（改善点等）
イベントを抜本的に見直しを行うこととしている

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

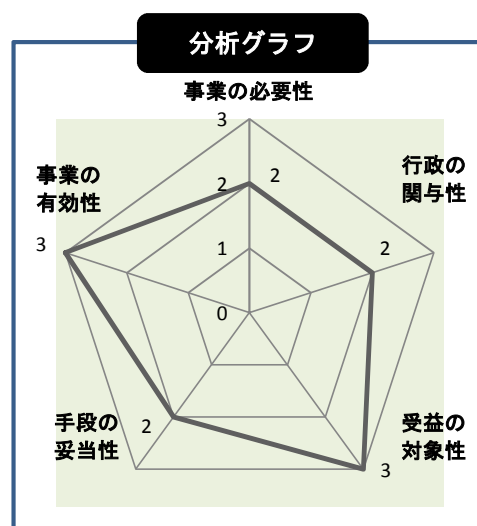
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		15,951	56,345	54,061	58,509
うち経常経費		13,841	53,703	54,061	58,509
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	15,951	56,345	54,061	58,509
うち経常		13,841	53,703	54,061	58,509
事業費に係る人件費		3,396	3,200	3,153	3,311

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
イベントに対する補助金の見直しを行うため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 一部イベントに関しては見直す必要がある
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 行政と住民との責任分担の見直しをする
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 イベントによる交流は市民に寄与するため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 目標達成のために適切な手段であるが、検討の余地がある(経済効果への結びつけ)
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待どおりの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱に則り見直しを行うこと